

11月にSGH特別講演会を実施しました。

SGH特別講演会

平成29年11月13日（月） 14:10～16:00 時習館高校 体育館

《目的》

課題研究テーマへの興味・関心を喚起し、課題研究テーマの理解を深めることを目的として実施する。また、「**ロジカルシンキング・コミュニケーション（LTC）**」の授業として、社会人や大学教授等による講義を受け、専門知識を体得し、**グローバル社会で活躍できるリーダーの育成**に役立てる。

《対象》 本校1年生生徒

《講師》 **大塚ホールディングス株式会社**
総務部課長 梅津芽生 氏

* 1998年大塚製薬株式会社に入社。MR（医薬情報担当者）として勤務の後、人事部、総務部秘書室、能力開発研究所などを経て、2016年に現職に就く。現在は主に大塚グループのCSR活動・社会貢献活動に従事している。



《演題》 **「大塚グループのCSR活動や企業としての国際貢献のあり方について」**

前半は、大塚グループの沿革や企業理念である“**Otsuka-people creating new products for better health worldwide**”（世界の人々の健康に貢献する革新的な製品を創造する）についてのお話をいただきました。後半は、**CSR（Corporate Social Responsibility, 企業の社会的責任）**とは何か、大塚グループがどのようなCSR活動に取り組んでいるかについてお話をいただきました。

[参加生徒の感想]

「成功の反対は成功しない。失敗の反対は失敗しない。」という言葉を読み、私は今まで失敗したくない気持ちのほうが大きかったが、それは「挑戦しないこと」につながるのだと気づかされた。多くの失敗と成功が自分の糧になることがわかった。これからは挑戦する姿勢を心がけたい。

大塚グループのCSR活動の話を読み、企業は様々な人たちに支えられており、企業はその人たちに対して誠意を持って接していることがわかった。企業は社会貢献する中で、利潤を得ることができるのが理想であり、社会に利益を還元することが必要だと改めて感じた。

一企業が、様々な分野で活躍し、企業責任や国際貢献を考えて活動していることを知った。一人の人間としてやらなければならないことを行った上での他人や社会への貢献であると思うので、高校生のうちから自分ができることを精一杯やりたいと思う。

「大塚だからできること。大塚にしかできないこと。」という言葉から、社会貢献というと、色々な分野において活動するものだと考えていたが、各企業や団体、個人などの得意分野を生かすことで、質のよい、より役に立つ貢献ができることがわかった。